くらしの危険 Number 315

刈払機による事故

ガソリンエンジンや電気モーターの動力により金属製などの刈刃を高速回転させて草を刈る刈払機（草刈機）は、ホームセンター等で手軽に購入できることから、園芸工具として一般消費者にも広く普及しています。
一方で、刈払機の使用中にけがをしたという事故情報が寄せられています。
便利な刈払機も使い方によっては大けがを招くおそれがあります。
使用の際は、危険性を十分に認識し、取扱説明書にしたがって適切に使用しましょう。

作業中の刈刃でけがをするケースが多い

医療機関ネットワーク*に寄せられた事故情報を分類すると、危害の症状は「刺傷・切傷・裂傷」が最も多く、部位は「手指」や「足指」が多くみられました。また、事故の状況は、「作業中の刈刃による事故や飛散物による事故」が最も多くみられました。

＊生命または身体に被害を生じる消費生活上の事故情報を参画医療機関から収集し、国民への注意喚起などに活用することを目的として実施している事業。消費者庁と国民生活センターの共同事業であり、2010年12月より情報収集を開始した。

こんな事故が起きています

作業中の刈刃による事故

ケース 1 二人一組で作業していた。相手が刈払機を操作し、当事者が草を刈りやすいよう、くわを使って倒れた草を持ち上げる作業中に刈払機が跳ねて、当事者の左手人さし指に刃があたり、手の甲側から指関節付近を約４cm切傷した。（70歳代、男性）

ケース 2 刈払機にて作業中、竹にあたった刃が跳ねて、右足を受傷した。親指の裂傷と開放骨折で入院となった。（50歳代、男性）

飛散物による事故

ケース 3 刈払機で作業中に右目に何かが入り、激痛が走ったため、救急搬送された。右目のほぼ中央部に植物の破片が入り、緊急手術にて異物除去と角膜縫合を行った。（60歳代、女性）

刈刃にものが挟まったことによる事故

ケース 4 草刈り中に、電動刈払機に軍手が絡まり、そのまま巻き込まれ、左手の人差し指を切断した。（70歳代、男性）

ケース 5 刈払機にて草刈り中、刃に何か挟まった感じがあったので、刈払機を停止して持ち上げて確認したところ、完全に停止しておらず、刃で手を切ってしまった。（20歳代、男性）

刈払機の種類・構造

刈払機には以下のような種類があります。用途や使用場所に適したものを選びましょう。

●動力

ガソリンエンジン式と電気モーター式があり、それぞれ右表のような特徴があります。

	ガソリンエンジン式	電気モーター式
全長	長い	短い
質量	重い	軽い
騒音	大きい	小さい
振動	大きい	小さい
作業範囲	広い	狭い（100V）
稼動時間	長い	短い（バッテリー）
点検・整備項目	多い	少ない

●ハンドル

U字ハンドル、ループ型ハンドル、ツーグリップの3種類があります。

●刈刃

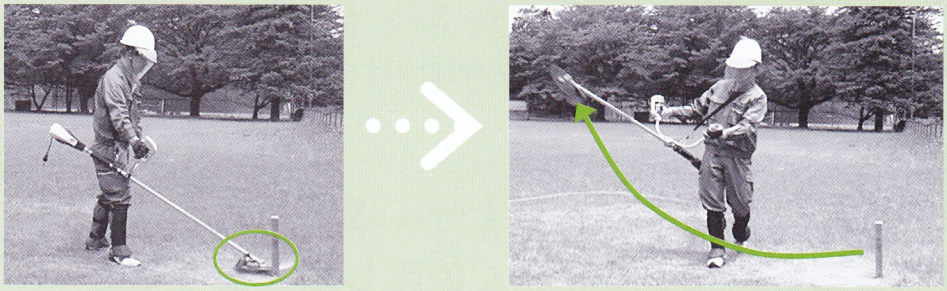
金属製（チップソーなど）、ナイロンカッターなどがあります。草が柔らかい場合や作業場所が建物などに近接している場合は、キックバックが生じないナイロンカッターの使用を検討しましょう。

主な事故状況を再現しました

●刈刃による事故

金属製の刈刃が樹木や地面と接触すると、刈刃の回転方向の反対側へ強く跳ね返されることがあります（キックバック現象）。近くに人がいると事故にあうおそれがあるため、注意が必要です。

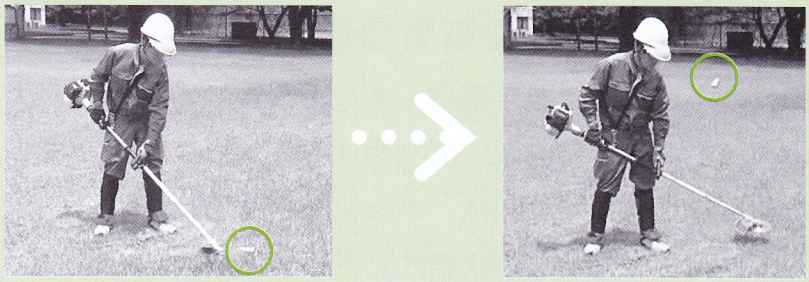
刈刃の右側部分が構造物と接触することで生じるキックバック



●飛散物による事故

作業中に刈刃が石などに触れると、数メートル飛散してしまうことがありました。作業者や近くの人に当たることもあるので注意が必要です。刈刃付近の所定の位置に飛散防護カバーを取り付けると、飛散をある程度防ぐことができます。

空き缶が飛散する様子



●刈刃に草などが絡まった際の事故

エンジンが作動したまま刈刃に絡まった草を取り除こうとすると、草が取れた途端に刈刃の回転が再開し、手を受傷するおそれがありました。刈刃周辺を触る際は、エンジンを停止するなどして刈刃が作動しない状態にする必要があります。

●肩かけバンドを装着せずに転倒した場合の事故

適当な長さに調整した肩かけバンドを装着していると、転倒した場合でも刈刃が身体に触れにくくなりました。一方、肩かけバンドを装着していない状態で転倒すると、刈払機が身体から離れてしまうため、刈刃が身体に触れる危険性が高くなりました。

肩かけバンドを装着した状態で転倒

肩かけバンドを装着せずに転倒

●このテストの詳細は（独）国民生活センターホームページ　商品テスト結果「刈払機（草刈機）の使い方に注意－指の切断や目に傷害を負う事故も－」で見ることができます。

事故を防ぐために

① 長袖、長ズボンを着用し、保護具を身につけましょう

短時間の作業であっても、長袖、長ズボンを着用し、
右のイラストに記載したような保護具を身につけましょう。

② 刈払機の危険性や使用方法を十分に理解し、取扱説明書にしたがって正しく使用しましょう

刈払機には、刈刃によるキックバックや飛散物など、
機械特有の危険があります。取扱説明書をよく読み、
使用方法や危険性を十分に理解した上で正しく使用しましょう。

③ 事故を防ぐため、以下の点に気をつけましょう

○使用時は、周囲に人がいないことを確認しましょう。
○飛散するおそれのある小石や空き缶などの障害物は事前に片付けておきましょう。
○刈刃に絡まった草などを取り除く際は、エンジンを停止したり、バッテリーやコンセントを外すなどして刈刃が作動しない状態にしましょう。
○作業中は、適正な長さに調整した肩かけバンドを装着しましょう。

●本内容は、独立行政法人国民生活センターホームページ内の「くらしの危険」コーナーにてダウンロードできます。
http://www.kokusen.go.jp/kiken/index.html

●本内容の詳細は、独立行政法人国民生活センターホームページに掲載しています。
http://www.kokusen.go.jp/

「くらしの危険」は、全国の消費生活センター、医療機関等から収集した情報をもとに、
被害や事故の未然防止・拡大防止のために作られています。
特定の商品・サービス等を推奨するものではありません。
商品やサービス、設備によって起きた事故の情報を最寄りの消費生活センターにお寄せください。
無断転載はお断りいたします。

独立行政法人
国民生活センター
〒252-0229 神奈川県相模原市中央区弥栄3-1-1　TEL.042(758)3165
●2013年9月発行

デザイン＝独立行政法人国民生活センター商品テスト部